

平成29年 作物技術普及情報 第5号

(麦の生育状況、水稻育苗管理について)

1 気象状況

4月中旬まで気温は乱高下しましたが、ここ数日はやや高温傾向で推移しています。また適度な降雨にも恵まれています。

2 麦の生育状況について

(1) 麦の生育状況

4月20～21日現在、生育良好な圃場の生育ステージは

大麦 止葉展開期直前 (昨年、出穂始め～穂揃い期)

小麦 幼穂長 10～20mm 前後 (昨年、葉耳間長±0～出穂始め)

※「ゆめかおり」は幼穂長10～30mm

生育進度は大麦は平年並み(昨年より8日遅)、小麦は平年より2日早い(昨年より7日遅)と思われます。

このまま生育が進んだ場合、大麦は4月末頃から、小麦は5月6日頃から出穂期に至ると思われます。

(2) 小麦の2回目の追肥時期

○ゆめきらり、シラネコムギ、しゅんよう、ユメセイキは、必ず止葉展開期を確認してから追肥をお願いします。

○ゆめかおり は、出穂期～穂揃い期を確認して追肥してください。

★小麦：シラネコムギ、ゆめきらり、しゅんよう、ユメセイキ
4月27～30日頃から止葉展開期を迎えると思われます。

★パン用小麦：ゆめかおり
4月30日～5月5日頃に出穂期を迎えると思われます。

○ 2回目の追肥量や追肥の注意点は、前回までの技術情報をご覧ください。

- 土壌が乾燥していると肥料が効きませんので、降雨が期待できない場合は灌水とセットで実施してください。

2 水稻の育苗管理

- ハウスのビニールをを新品にした場合や、ハイマットをべたがけしている場合は、特に晴天日の温度管理には細心の注意をはらい、緑化したら除去が遅れないようにお願いします。
- これからムレ苗や立ち枯れ病の発生しやすい時期を迎えます。急な高温・急な低温・灌水過多での多湿による急激な環境変化は、ムレ苗や立ち枯れ病の発生を助長します。
- 霜注意報が出て、著しい低温が予想される場合は、午後3時頃にはハウスを閉め、保温資材の被覆等による低温対策の徹底をお願いします（プール育苗の場合も水を箱上まで深めに湛水してください）。

早朝から晴天が予想される場合（特に霜注意報の出た日は注意）は、ハウス内の急激な高温・温度上昇を避けるため、日の出とともにハウスの換気始め、保温資材を被覆してある場合はできるだけ早く除去するようにご指導ください（朝6時までにはハウスの換気や保温資材の除去を開始して下さい）。

曇り空でも雲間に太陽が出ている場合は要注意です。天気でハウスの開閉を迷ったら、とにかく「開ける」ことをポイントにご指導をお願いします。